

コミュニティソーシャルワーク実践講座

地域福祉推進の方法論の構築～新たな生活課題への支援から考える～

本講座は、地域を基盤としたソーシャルワーク”（Community based Social Work）の実践をテーマに、“暮らしをまもる”個別支援機能と“つながりをつくる”地域支援機能を連携させた地域福祉推進の方法論とその技術を習得し、地域福祉を推進する専門職の育成を目的に開催します。

今年度は、生活困窮者支援等、現行の仕組みでは対応しきれていない生活課題に対して、地域福祉の理念と技術を用いた解決支援方法を考えます。

1. 受講対象 大阪市内の社会福祉協議会や地域包括支援センター等に勤務する福祉職員
2. 研修日程 ①8月28日 ②9月18日 ③10月16日 ④11月6日 ⑤1月15日の木曜日
①④⑤は午後1時30分～午後5時、②③は午前10時～午後5時
3. 研修会場 大阪市社会福祉研修・情報センター（西成区出城2-5-20）
4. 内 容 裏面プログラムを参照ください
5. 講師等 桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 松端 克文
西成区社会福祉協議会 生活困窮者相談支援員 川東仙司
東淀川区社会福祉協議会 生活困窮者相談支援員 岩崎さとみ
岸和田市社会福祉協議会 地域福祉係 三林達哉
6. 定 員 30人（申込多数の場合は、選考のうえ受講者を決定します。）
7. 受講料 7,000円
8. 申込方法 受講申込・推薦書および事前レポートを下記申込先にお送りください
<事前レポート>
日々の業務で関わる「今日的な福祉課題」（※現行の仕組みでは支援が難しい福祉課題）と、その支援で困難と感じる内容（なぜ困難と感じているのか）を記述ください（500字程度）
9. 申込締切 受講申込（事前レポート含む）：平成26年8月2日（土）必着
10. 受講決定 「受講決定通知書」を所属長あて送付します。
11. 申込先 大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
Tel06-4392-8201 FAX06-4392-8272 kensyu@shakyo-osaka.jp

平成 26 年度「コミュニティソーシャルワーク実践講座」プログラム内容

<p>【第一講】</p> <p>8月28日〔木〕</p> <p>13:30~17:00</p>	<p style="text-align: center;">地域を基盤としたソーシャルワーク実践概論</p> <p style="text-align: center;">「地域福祉の推進と生活困窮者支援」</p> <p>地域福祉の理論と方法論（概論）を学びます。現在の制度や仕組みだけでは解決が難しい「今日的な生活課題」に対して、地域福祉の理念と方法をどう活かしていくのか、その基本を考えます。</p> <p style="text-align: center;">講師：松端 克文 （桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授）</p>
<p>【第二講】</p> <p>9月18日〔木〕</p> <p>10:00~12:30</p>	<p style="text-align: center;">個別支援から地域自立生活支援へ</p> <p style="text-align: center;">生活困窮者自立促進支援モデル事業での実践から学ぶ[実践報告]</p> <p>現在の制度や仕組みだけでは解決が難しい“今日的な生活課題”の一つである、「生活困窮者」支援。今年度、大阪市で実施されている生活困窮者自立促進支援モデル事業で実践している社協職員から、支援における現状と課題を学びます。</p> <p style="text-align: center;">報告者：西成区社会福祉協議会 生活困窮者相談員 川東 仙司 東淀川区社会福祉協議会 生活困窮者相談員 岩崎さとみ</p>
<p>13:30~17:00</p>	<p style="text-align: center;">個別支援から地域自立生活支援のポイント</p> <p>相談者個人への支援に焦点をあて、個別支援及び地域自立生活支援における専門性について考えます。午前の実践報告の内容を題材に、個別支援及び地域自立支援へつなげる考え方と方法論を中心に学びます。</p> <p>[キーワード]</p> <p style="text-align: center;">エコロジカル・アプローチ、環境と個人の相互作用、アセスメント、個別支援計画</p> <p style="text-align: center;">講師：松端 克文 （桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授）</p>

<p>講師プロフィール／松端 克文（まつのはな かつふみ）</p> <p>桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授</p> <p>専攻は、社会福祉学、地域福祉論、社会福祉施設サービス論</p> <p>主な著書</p> <p>『対話と学び合いの地域福祉のすすめ—松江市のコミュニティソーシャルワーク実践』 （編著、全国コミュニティライフサポートセンター、2014）</p> <p>『よくわかる地域福祉（第5版）』（編著、ミネルヴァ書房、2012）、</p> <p>『松江市の地域福祉計画—住民の主体形成とコミュニティソーシャルワークの展開—』 （編著、ミネルヴァ書房、2006）、</p> <p>『障害者の個別支援計画の考え方・書き方』（単著、日総研出版、2004）、</p> <p>『地域福祉計画—ガバナンス時代の社会福祉計画—』（共著、有斐閣、2005） ほか</p>
--

<p>【第三講】</p> <p>10月16日〔木〕</p> <p>10:00~12:30</p>	<p>ひきこもり状態のある若者・就労困難状態にある障がい者への 就労支援について[実践報告]</p> <p>ひきこもりの相談を受け、ひきこもり支援ネットワーク会議への参画や居場所づくり支援事業等、多彩な事業を展開する岸和田市社会福祉協議会の実践から、個別支援・地域自立生活支援・地域支援のノウハウを学びます。</p> <p>報告者：岸和田市社会福祉協議会 地域福祉係 三林 達哉</p>
<p>13:30~17:00</p>	<p>個別支援から地域支援へのポイント</p> <p>現行の仕組みでは対応しきれない多様な生活課題に対して、地域住民等のつながりの再構築と住民と行政の協働による地域福祉の推進について考えます。</p> <p>[キーワード] 社会資源開発、制度化、コレクティブ・アプローチ</p> <p>講師：松端 克文（桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授）</p>
<p>【第四講】</p> <p>11月6日〔木〕</p> <p>13:30~17:00</p>	<p>潜在化ニーズの把握、ともに支え合う地域づくりの基本的視点</p> <p>既存の制度やサービスに対応できず、潜在化している生活課題ニーズをいかに把握するか、そして生活課題のある人も地域社会の一員として参加できる「新たな支え合い」の地域づくりの方法論について考えます。</p> <p>[キーワード] 社会福祉調査法、地域診断法、住民懇談会の運営 など</p> <p>講師：松端 克文（桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授）</p>

第一～第四講をふまえ、日々の業務で関わる、現行の仕組み等で解決が難しい、今日的な福祉課題に対して、地域福祉の手法を用いた支援計画案を第五講までに作成していただきます。

<p>【第五講】</p> <p>1月15日〔木〕</p> <p>13:30~17:00</p>	<p>地域福祉推進の方法論を考える</p> <p>本講座の第一講～四講の内容を振り返り、受講者が作成した支援計画案も題材にして、今日的な福祉課題の解決方法と地域福祉の推進について、総括的に学びます。</p> <p>[キーワード] 地域福祉推進の理論と方法論の再確認、新たな生活課題の解決と地域福祉</p> <p>講師：松端 克文（桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授）</p>
--	--

平成26年 月 日

大阪市社会福祉研修・情報センターあて

コミュニティソーシャルワーク実践講座
 ～地域福祉推進の方法論の構築～新たな生活課題への支援から考える～
 受講申込書

ふりがな 名前			
年齢	歳	性別	男・女
職種		役職	
福祉業務経験年数	年	か月	*経験年数基準日 平成26年8月1日
現(役)職での経験年数	年	か月	
事前レポートについて	<p>テーマ あなたが日々の業務で関わる「今日的な福祉課題」(※現行の仕組みでは支援が難しい福祉課題)と、その支援で困難と感じる内容(なぜ困難と感じているのか)を記述ください(500字程度)。</p> <p>※あなたが感じる課題を、講師等がより理解するために記述をお願いします [様式は問いません。8月2日までに送付ください]</p>		

【 推 薦 書 】

上記の者を推薦します。

機関・施設名	
所属長	印

施設	所在地	〒
	電話番号	
	FAX番号	

申込締切 平成26年8月2日(土) [事前レポートも8月2日(土)まで]

※大阪市社会福祉研修・情報センターでの個人情報の取り扱いについて

当センター主催の研修・講座に受講申し込みされる際には、名前、住所その他の個人情報を提供していただきますが、これらの情報は、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためのみ使用し、他の目的で使用したり、他者へ提供することはありません。